

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 保 第 号 乙 保	氏 名	片岡 睦子
審査委員	主 査 雄西 智恵美 副 査 葉久 真理 副 査 近藤 和也		

題 目 Characteristics of Psychiatric Hospital Work Environment Found Attractive by Professional Nurse Administrators in Japan
(精神科病院の看護職員の獲得のための魅力ある職場環境の特徴)

著 者 Mutsuko Kataoka, Misao Miyagawa, Shoko Fuji, Hirokazu Ito, Tetsuya Tanioka, Yuko Yasuhara, Beth King, Rozzano Locsin
2016年12月発行 International Journal of Nursing & Clinical Practices, Volume 3 に
発表済

要 旨 精神科病院の看護職員の獲得のための魅力ある職場環境の特徴を明らかにすることを目的とした。調査対象は日本精神科病院協会に入会している1208病院のうち、精神科単科の病院の看護管理者277名を抽出し、234名の看護管理者から回答を得た。片岡らが作成した看護管理者の自分の病院に対する評価に関する質問票の53項目を因子分析した結果、9つの因子が抽出された。

看護師の新卒採用の有無(採用あり94病院、採用なし133病院)による比較では、新卒者の採用がある病院の看護管理者は、教育体制、専門・認定資格取得支援制度、就職先としての病院の評判、看護理念の周知と職場風土、実習指導の評判、給与・手当で有意に高く評価していた。また、病床数や外来患者数による比較で病床数200床以上、1日外来患者数50人以上が、教育体制、就職先としての病院の評判、実習指導の評判が良いと捉えていることが明らかになった。

以上の結果は、中小の精神科病院の看護職員の人員不足の問題に看護管理者が取り組むための情報を示唆しており、精神科病院の看護の質改善のための基本となる人材確保のために有意義な内容である。その社会的意義は大きく、博士の学位授与に値すると判定した。